



2020年11月9日

各 位

会社名 明和産業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉田 毅  
 (コード番号 8103 東証第一部)  
 問合せ先 総務人事部長 福島弘久  
 (TEL.03-3240-9011)

(訂正)「2020年度第2四半期末連結決算概要」の一部訂正について

本年11月6日公表の「2020年度第2四半期末連結決算概要」につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

訂正箇所につきましては、下線を付しております。

記

1.訂正理由

連結キャッシュ・フロー計算書の表内の数値の一部に誤りがあったため、訂正を行うものです。

2.訂正箇所及び訂正内容

11 ページ 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

明和産業株式会社

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項目	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,747	<u>4,842</u>	95	運転資金 $\Delta$ 653 非現金収支 944 法人税等の支払 $\Delta$ 132
投資活動によるキャッシュ・フロー	347	$\Delta$ 164	$\Delta$ 512	投資有価証券売却の反動減 $\Delta$ 625 短期貸付による回収による収入 95
財務活動によるキャッシュ・フロー	$\Delta$ 2,054	$\Delta$ 1,954	99	短期借入金の純増減額 169 配当金の支払 $\Delta$ 83
為替換算差額	$\Delta$ 7	$\Delta$ 6	1	
期中増減額	3,032	<u>2,717</u>	<u><math>\Delta</math> 315</u>	
現金同等物期末残高	7,442	9,809		

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項目	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減	主な増減要因
営業活動キャッシュ・フロー	4,747	4,828	81	運転資金 $\Delta$ 668 非現金収支 944 法人税等の支払 $\Delta$ 132
投資活動キャッシュ・フロー	347	$\Delta$ 164	$\Delta$ 512	投資有価証券売却の反動減 $\Delta$ 625 短期貸付による回収による収入 95
財務活動キャッシュ・フロー	$\Delta$ 2,054	$\Delta$ 1,954	99	短期借入金の純増減額 169 配当金の支払 $\Delta$ 83
為替換算差額	$\Delta$ 7	$\Delta$ 6	1	
期中増減額	3,032	2,703	$\Delta$ 329	
現金同等物期末残高	7,442	9,809		

© Melwa Corporation All Rights Reserved

11

以上

---

# 2020年度第2四半期末連結決算概要

---

2020年11月6日

 **明和産業株式会社**

証券コード：8103

## 2020年度2Q決算ハイライト

- 対前年同期比**減収**（△11.8%）・**減益**（△28.9%）
- 売上高は低調に推移したものの、販売管理費の抑制により、営業利益は増益となる。
- 電池関連取引において同関連市況下落により一部取引損失が発生。また、自動車業界の不振により持分法投資損失が発生。

※新型コロナウイルスの影響により、現時点で合理的な将来の見積もりが困難なため、新中期経営計画の公表は引き続き見送らせて頂きます。

新型コロナウイルスによる業績への影響を慎重に見極め、詳細が明らかになり次第、速やかに公表致します。

## 連結対象会社

項目	2019年度末 (A)	2020年度 第2四半期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要 ( ) 内は報告セグメント
連結 子会社数	6社	6社	±0社	十全 (第三事業) 武田商事 (第三事業) 明和産業(上海) (各事業) 東京グラスロン (第三事業) ソーケン (第三事業) 明和セールス(その他) ※第2四半期より除外 MEIWA VIETNAM (各事業) ※第1四半期より追加
持分法 適用会社数	3社	3社	±0社	鈴裕化学 (第一事業) クミ化成 (自動車・電池材料事業) P.T. PAKARTI RIKEN INDONESIA (自動車・電池材料事業)
計	9社	9社	±0社	

## 外部環境要因

項目	2019年度 第2四半期 (A)	2020年度 第2四半期 (B)	前年同期 差異 (B) - (A)	
為替レート	円/\$	107.92	105.80	△2.12
	円/CNY	15.13	15.54	+0.41

# 連結損益計算書（2020年4月～2020年9月）

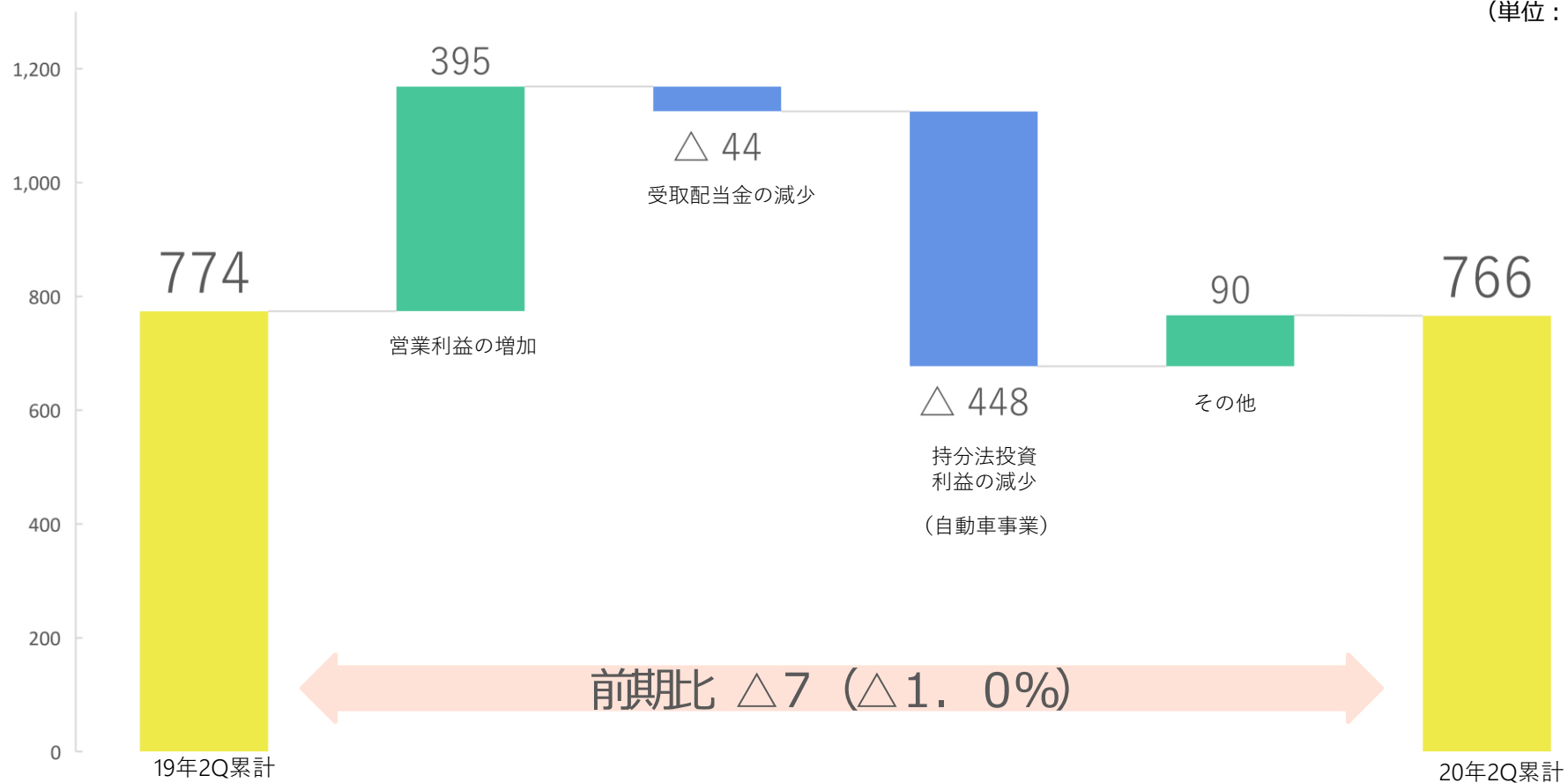
(単位：百万円)

項目	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	68,575	60,497	△ 8,077	△ 11.8%	<b>125,000</b>	<b>48.4%</b>
売上総利益	4,895	4,279	△ 615			
売上総利益率	7.13%	7.07%	△ 0.6%			
販売費及び一般管理費	△ 4,297	△ 3,286	+ 1,010			
営業利益	597	992	+ 395	+ 66.1%	<b>1,400</b>	<b>70.9%</b>
金融収支	△ 73	△ 48	+ 24			
受取配当金	91	47	△ 44			
その他営業外損益	△ 88	△ 22	+ 65			
持分法による投資損益	246	△ 201	△ 448			
経常利益	774	766	△ 7	△ 1.0%	<b>1,100</b>	<b>69.7%</b>
特別損益	377	△ 16	△ 394			
税金等調整前四半期純利益	1,152	750	△ 401			
法人税等	△ 240	△ 98	△ 141			
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 11	△ 11	+ 0			
親会社株主に帰属する四半期純利益	900	640	△ 259	△ 28.9%	<b>800</b>	<b>80.0%</b>

# 前年同期比分析 - 経常利益 -

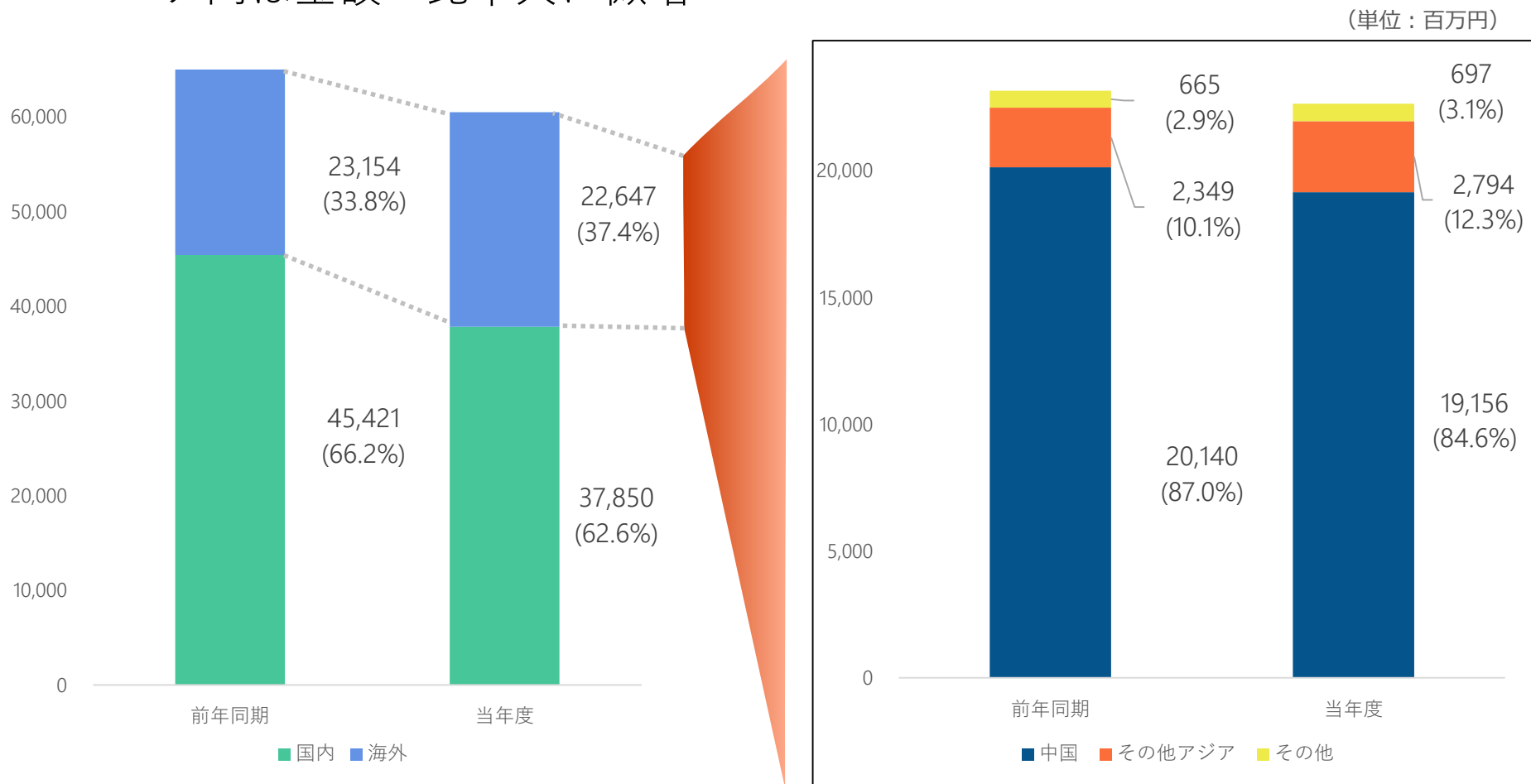
- ◆ 営業利益の増加などのプラス要因もあったが持分法投資利益の減少等もあり 7 百万円の減益となった

(単位：百万円)



# 地域（国内・海外）別売上高

- ◆ 国内事業、海外事業共に低調に推移（海外売上比率37.4%）
  - － 海外事業の内、中国向売上が占める割合は高水準、その他アジア向は金額・比率共に微増





# 報告セグメントに関する補足情報

セグメントの名称	主な事業	主な取扱商品及び事業内容
第一事業	資源・環境ビジネス事業 樹脂・難燃剤事業 医薬関連開発事業	・レアアース・レアメタル、環境関連 ・合成樹脂・難燃剤 ・原薬・医薬中間体
第二事業	石油製品事業 石油ビジネス開発事業	・潤滑油、ベースオイル、添加剤 ・海外事業開発
第三事業	高機能素材事業 機能建材事業	・化学品原料、印刷材料、合成樹脂加工品 ・機能建材
自動車・電池材料事業（※）	自動車事業 電池材料事業	・自動車部品関連事業 ・電池材料

※組織変更に伴い2020年度第1四半期より電池材料事業を第一事業から分割、自動車事業と統合し、「自動車・電池材料事業」としております。

# 報告セグメント別売上高

(単位：百万円)

セグメント	2019年度	2020年度					増減	主な増減要因
	2Q	1Q	2Q	3Q	4Q	累計		
第一事業	11,950	5,229	4,585			9,815	△ 2,135	金属製品 (△)
第二事業	19,865	9,643	9,328			18,972	△ 893	潤滑油、添加剤 (△)
第三事業	34,406	14,436	14,300			28,736	△ 5,669	合成樹脂加工品、防水資材 (△)
自動車・ 電池材料事業	2,178	1,875	1,097			2,973	+ 794	電池材料 (+)
その他	175	-	-			-	△ 175	
合計	68,575	31,185	29,312			60,497	△ 8,077	

注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。

# 報告セグメント別利益

(単位：百万円)

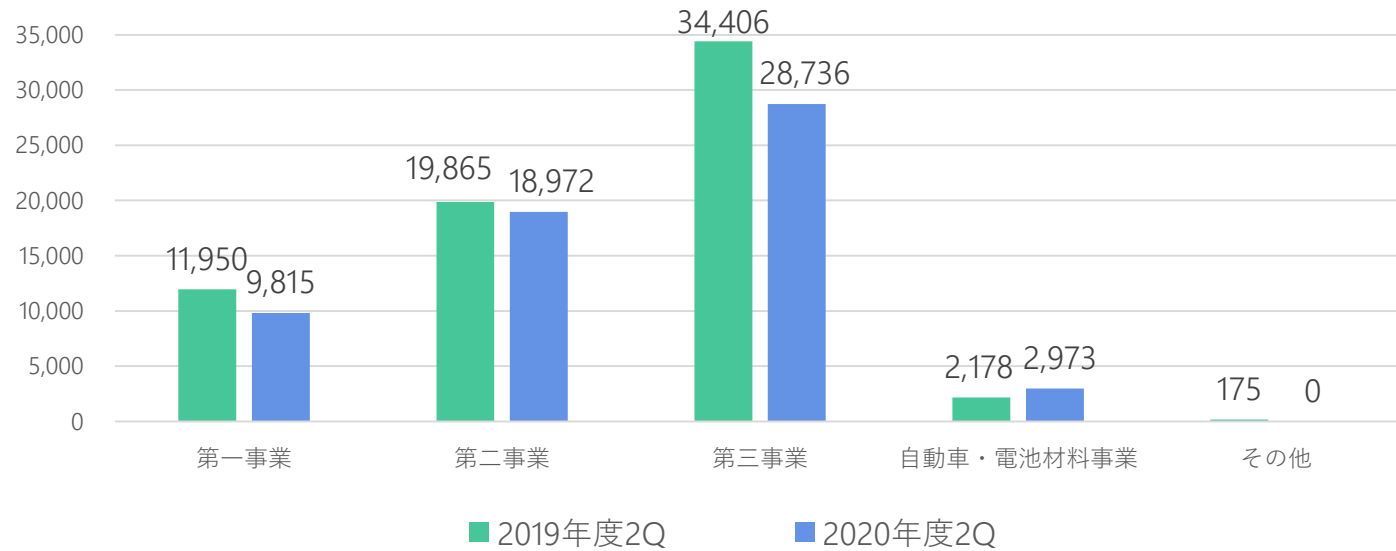
セグメント	2019年度	2020年度					増減	主な増減要因
	2Q	1Q	2Q	3Q	4Q	累計		
第一事業	51	20	24			45	△ 6	
第二事業	419	260	330			591	+ 171	中国潤滑油 (+)
第三事業	436	207	264			471	+ 34	
自動車・ 電池材料事業	△ 165	△ 223	△ 159			△ 382	△ 217	持分法投資損益 (△)
その他	△ 24	-	-			-	+ 24	
調整額	56	52	△ 10			41	△ 14	
合計	774	316	450			766	△ 7	

注) 1.その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。  
 2.調整額は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

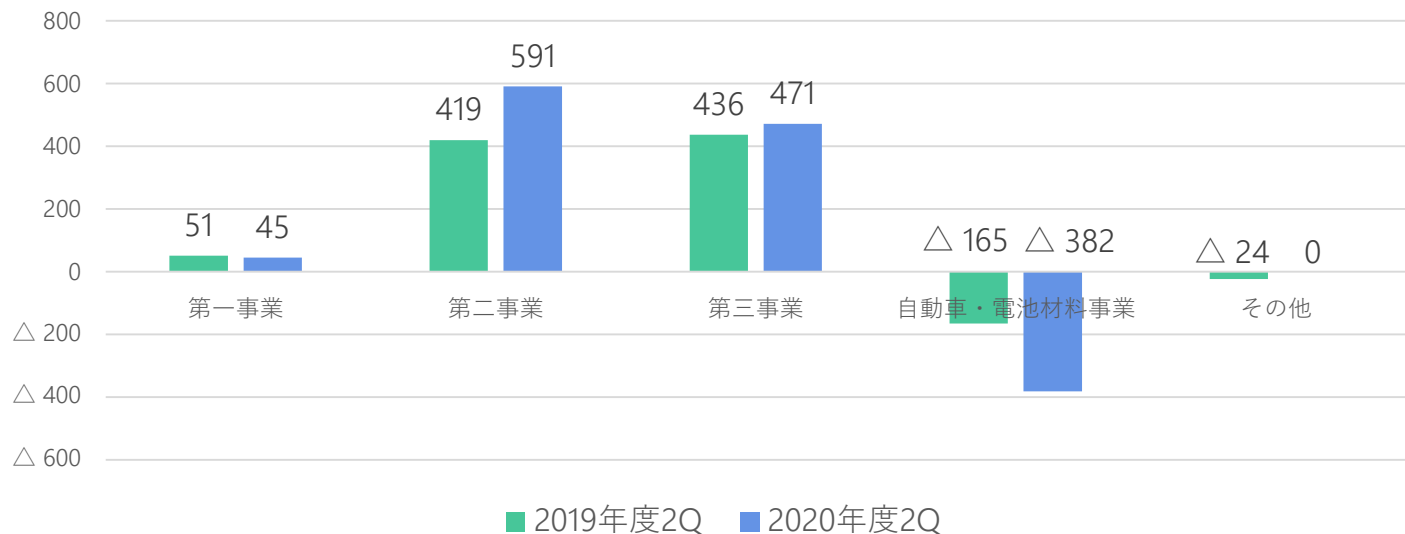
# 報告セグメント別売上高及び利益推移

## ● 売上高

(単位：百万円)



## ● 利益



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

項目	2019年度末	2020年度 第2四半期末	増減
現金及び預金	6,985	9,809	+ 2,824
売上債権	35,039	31,003	△ 4,035
商品	7,517	5,549	△ 1,967
その他の流動資産	1,362	612	△ 749
貸倒引当金	△ 152	△ 145	+ 7
<b>流動資産計</b>	<b>50,751</b>	<b>46,829</b>	<b>△ 3,921</b>
有形固定資産	1,092	1,219	+ 126
無形固定資産	133	265	+ 132
投資有価証券	12,554	13,219	+ 664
その他の固定資産	1,213	999	△ 213
貸倒引当金	△ 116	△ 42	+ 74
<b>固定資産計</b>	<b>14,877</b>	<b>15,662</b>	<b>+ 785</b>
<b>資産合計</b>	<b>65,628</b>	<b>62,492</b>	<b>△ 3,136</b>

項目	2019年度末	2020年度 第2四半期末	増減
仕入債務	24,201	22,001	△ 2,199
短期借入金	4,493	3,184	△ 1,308
その他の流動負債	2,642	1,328	△ 1,313
<b>流動負債計</b>	<b>31,337</b>	<b>26,515</b>	<b>△ 4,822</b>
長期借入金	50	550	+ 500
退職給付に係る負債	1,264	1,265	+ 1
その他の固定負債	1,994	2,170	+ 175
<b>固定負債計</b>	<b>3,309</b>	<b>3,986</b>	<b>+ 676</b>
<b>負債計</b>	<b>34,646</b>	<b>30,501</b>	<b>△ 4,145</b>
資本金・資本剰余金	6,785	6,785	-
利益剰余金	23,058	23,279	+ 221
自己株式	△ 4	△ 4	-
<b>株主資本合計</b>	<b>29,840</b>	<b>30,061</b>	<b>+ 221</b>
その他有価証券評価差額金	1,753	2,537	+ 783
為替換算調整勘定 他	△ 866	△ 863	+ 2
<b>その他包括利益累計額合計</b>	<b>887</b>	<b>1,673</b>	<b>+ 786</b>
非支配株主持分	254	255	+ 1
<b>純資産計</b>	<b>30,982</b>	<b>31,991</b>	<b>+ 1,009</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>65,628</b>	<b>62,492</b>	<b>△ 3,136</b>

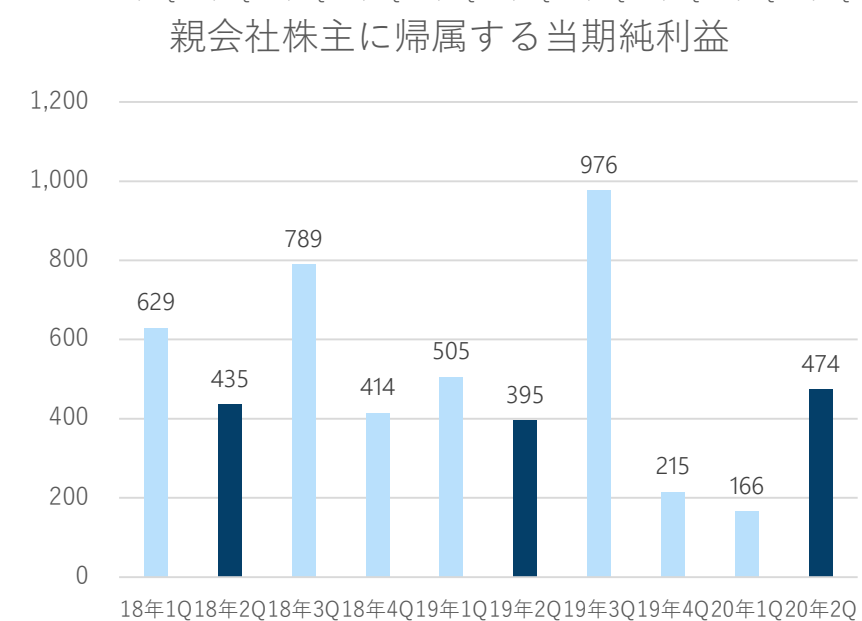
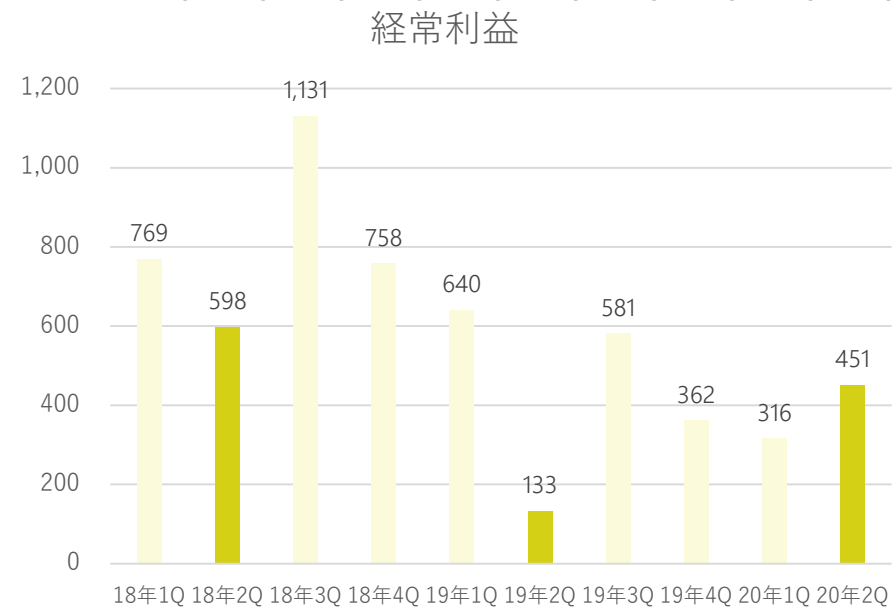
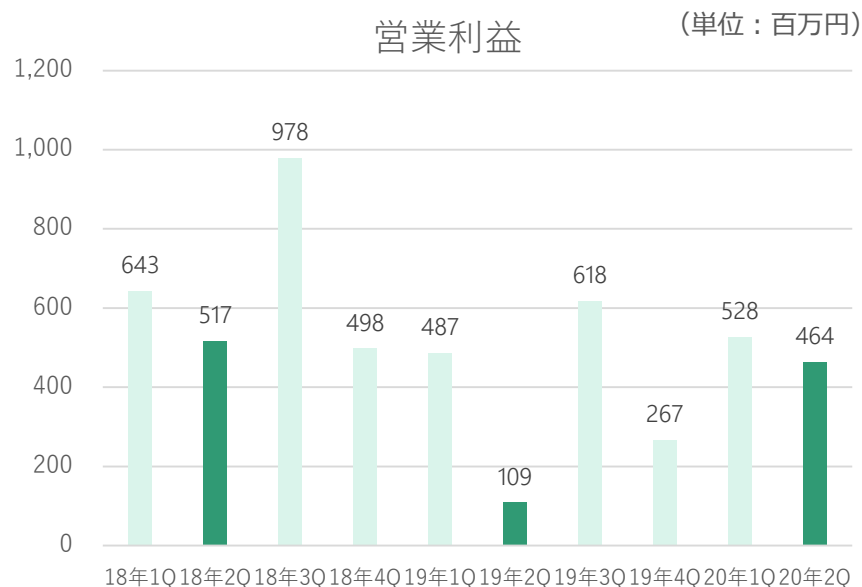
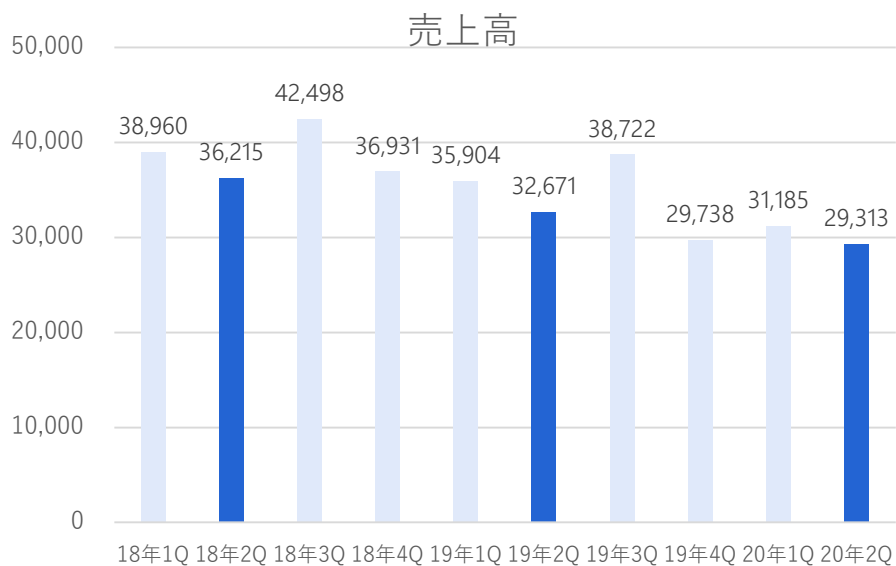
<b>自己資本比率</b>	<b>46.8%</b>	<b>50.8%</b>	<b>+ 4.0%</b>
---------------	--------------	--------------	---------------

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項目	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減	主な増減要因
営業活動キャッシュ・フロー	4,747	4,828	81	運転資金 $\triangle$ 668 非現金収支 944 法人税等の支払 $\triangle$ 132
投資活動キャッシュ・フロー	347	$\triangle$ 164	$\triangle$ 512	投資有価証券売却の反動減 $\triangle$ 625 短期貸付による回収による収入 95
財務活動キャッシュ・フロー	$\triangle$ 2,054	$\triangle$ 1,954	99	短期借入金の純増減額 169 配当金の支払 $\triangle$ 83
為替換算差額	$\triangle$ 7	$\triangle$ 6	1	
期中増減額	3,032	2,703	$\triangle$ 329	
現金同等物期末残高	7,442	9,809		

# 連結四半期業績推移



# 2020年度連結業績予想（通期）

（単位：百万円）

項目	2020年度予想 (2020/9/29公表)	2019年度	増減率
売上高	125,000	137,036	△ 8.8%
営業利益	1,400	1,483	△ 5.6%
経常利益	1,100	1,718	△ 36.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	800	2,091	△ 61.8%

本資料で記載されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。